

決算等審査 特別委員会

委員長 鈴木 繁雄
副委員長 嶋中 貴志

本委員会は、議会選出の監査委員を除く全議員五十五名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに質疑を行います。
審査は九月二十一日から十一日間開催され、延べ八十名の委員が約三十八時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨を会派ごとに掲載します。

新しい翼

佐々木 両道 委員

○縦割行政の改善や人材育成等の行政改革について
○国の地方行政検討会議における議論について
・議会と長の関係のあり方
・住民の自治体経営への参加のあり方
・自治体の自由度拡大
・大都市制度のあり方

橋本 啓一 委員

○虐待防止に取り組む児童相談所と各区保健福祉センター等機関の連携と機能強化
○保護児童ケアと親への対応
○虐待予防の乳幼児家庭支援
○地下鉄南北線の利用促進に向けた利便性向上の取り組み
○仙台駅前ハの停止の分りやす
○自転車と歩行者優先道路
○泉中央駅周辺の渋滞解消に向けた交通環境の改善策

跡部 薫 委員

○本市の幼児教育に重要な役割を担う私立幼稚園と保護者への支援策を拡充すべき
○待機児童の解消や子育て支援充実に向け、預かり保育補助や子育て支援補助等幼児園と保護者を支援したい
○その他の主な質疑項目
○大規模製造業の立地による経済的影響
○本市の取組
○APEC高級実務者協会
○国際産学連携フェロー制度
○副市長の中国訪問
○市民利用施設は年度毎

公明党

会計・費目別の主な質疑項目

○他都市の事業仕分けを検証し、実施に向け検討すべき
○自動販売機の設置契約の変更による減入アップ
○健康福祉費
○小児用肺炎球菌ワクチンとロソフロン接種に助成を行うべきと思うがどうか
○子供の細菌性髄膜炎の予防に有効と認識しており、国の動向を注視している
○本市に、引きこもり専用相談窓口や支援センターを設置すべきである
○災害発生時、福祉避難所が円滑に運営されるよう事前の準備に努めよ

国民健康保険特別会計

○ジェネリック医薬品の市民の医療費負担を軽減するため、利用を促進し啓蒙せよ
○引き続き関係機関との協力・連携を図りながら、使用促進に向けた動きを行う。

日本共産党

福島 かずえ 委員

○使用済みの三十一億円の繰入金を使わず使えば、八億円の行方を明らかにせよ
○高架下、線路に挟まれた土地は認可保育所に不適切

鶴ヶ谷第二市営住宅は空家修繕を急ぎ、募集開始を

○高齢者の多い鶴ヶ谷団地の再生にはシルバーハウジングなど福祉対策を急ぐべき

民主クラブ仙台

木村 勝好 委員

○旭ヶ丘のプール計画は一度立ち止まって熟慮すべきではないか
○今議会での議論や指摘を踏まえ、現在進めている作業の中で課題を整理し、プールを含む複合施設全体について再度検討していきたい
○あすと長町のまちづくり促進
○地下鉄の利用者増加対策
○学校の保健室へのエアー

大内 久雄 委員

○平成二十年度に開始した都市計画道路宮沢根白石線(南鍛冶町工区)のJ/R路線橋工事の進捗状況はどうか
○現在、橋脚基礎部分の杭打ち工事を行っており、来年度からは桁の架設等上部工事を開始して予定通り平成二十三年度末に完成予定である
○都市計画道路狐小路尼寺線の整備について

伊藤 新治郎 委員

○学校教育現場における道徳教育の成果と課題について
○道徳教育の成果と課題について
○道徳教育の成果と課題について
○道徳教育の成果と課題について



教育費

○学校図書室地域開放の拡大
○天文台への直行バスの実施
○学校支援地域本部の拡大を
○将来の本市の人口減少に対し、東北の拠点都市として地盤沈下を防ぐためあらゆる施策を用い努力すべきである
○本市が有する知的資源や高度な都市機能を活用し、市民の知恵を結集しながら、都市力を高めていく



社民党

相沢 和紀 委員

○安心安全のまちづくりの強化と住民自治のモデル化
○現在以上の教室不足となる場合に、早急な対応を図ってまいりたい
○新市立病院へバス乗入れを
○米価下落の影響は深刻。市独自の補てん策を行うべき
○就学援助認定基準額を他都市並みに引き上げるべき
○動物園の動物の繁殖計画は周知な準備と費用をかけて○シジュウカラガン羽数回復事業を再開すべき

ふなやま 由美 委員

○袋原小学校の教室不足は深刻。急ぎプレハブで対応しながら校舎の増築をすべき

改革フォーラム

佐藤 正昭 委員

○敬老乗車証条例の改正により、一人最大二万二千円の負担で五千円券が二十四枚交付されるが、制度の根本を揺るがすような不正行為等を誘発する制度であってはならない。どのように対応するのか
○乗車証を男女で色分けし、さらにカードの製造番号を交付台帳に控え、悪質な利用には交付停止措置を講じるなど行うこととしている
○わかりやすく利用しやすいバスの運賃システムを
○市長が目指す区役所行政のあり方についての所見

高藤 範夫 委員

○土地開発公社は、市の基金から短期借入金の借り換えを繰り返し自転車操業している上に、新たな公共用地的
○展示の工夫と努力による仙台文学館の来館者増加策
○区役所や市民センターの老朽化の実態調査と改修計画
○市民利用施設の適正な管理運営のために実用材料収入等の基礎データ把握の徹底(ALT(外国語指導助手)配置事業の費用対効果
○家庭芝生化への今後の対応と鳥取方式の導入検討
○学区のあり方を見直しや統廃合をはじめとする学校規模適正化の取り組み

大泉 鉄之助 委員

○敬老乗車証を男女で色分けし、さらにカードの製造番号を交付台帳に控え、悪質な利用には交付停止措置を講じるなど行うこととしている
○わかりやすく利用しやすいバスの運賃システムを
○市長が目指す区役所行政のあり方についての所見

改革民主

高藤 建雄 委員

○決算審査を通して、何が問われたか
○決算不認定の場合の措置は
○旭ヶ丘のプール建設について
○緊急雇用対策について
○市民力・市民協働について



無所属

菅原 健 委員

○地域防災時における、重要な活動拠点である防災資機材倉庫の今後の整備のあり方について
○未整備地区の解消を最優先に進めながら、地域の状況



横田 匡人 委員

○東西線開業後の地域のバス路線と駅との結節について
○公共交通の利用促進の観点からバス・地下鉄の市内均一運賃制度を導入し
○本市が目指す都市像と実現に向けた都市計画について



八島 幸三 委員

○精神科を始めとする医師等のスタッフの早急な確保を
○病棟連携、病診連携の強化と役割分担の推進
○新市立病院の運営は真に市民の健康が守れる形態に
○電磁波による健康被害等に対し、総合的な担当窓口を設置し対応すべき

民生委員児童委員研修会

民生委員児童委員研修会

○ごみ排出調査に職員自身も参加し実態を把握すべき
○夜間の災害時に備え、小中学校の鍵を近隣の方に保管してもらおうとするべき
○高森地区陥没事故について不安を取り除くために努力を
○何をもち安全だと判断したのか。今でも安全宣言は生きているのか
○若年者(大学生・専門学校生等)の就職支援について社会参加の重要な入口が就職。緊急に策を講ずるべき

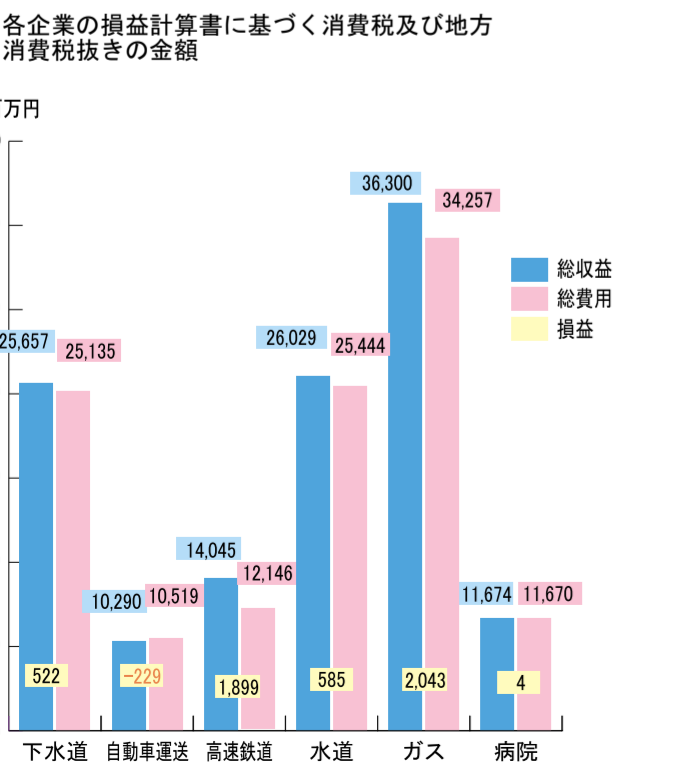
小野寺 健 委員

○ごみ焼却施設体制を見直し、ごみ処理費用総額の削減を
○雨水対策事業の整備状況
○雨水宅地排水の誤接続改善
○民生委員児童委員と役割分担の明確化と周知が必要
○指摘を踏まえ策定中の地域福祉計画の中で検討する。

池田 友信 委員

○ごみ焼却施設体制を見直し、ごみ処理費用総額の削減を
○雨水対策事業の整備状況
○雨水宅地排水の誤接続改善
○民生委員児童委員と役割分担の明確化と周知が必要
○指摘を踏まえ策定中の地域福祉計画の中で検討する。

平成21年度 企業会計決算の収支状況

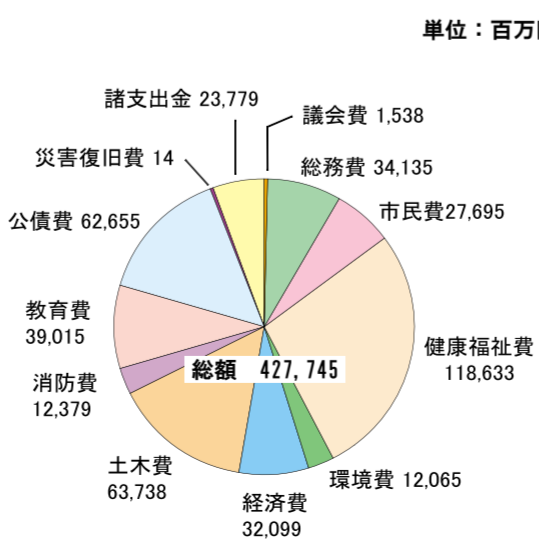


平成21年度 特別会計決算の収支状況

単位: 百万円

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	11,500	10,994	506
国民健康保険事業	83,686	83,686	0
中央卸売市場事業	2,676	2,676	0
公共用地先行取得事業	2,798	2,798	0
駐車場事業	495	495	0
老人保健医療事業	164	147	17
公債管理	129,026	129,026	0
母子寡婦福祉資金貸付事業	246	117	129
新墓園事業	774	774	0
介護保険事業	49,150	48,508	642
後期高齢者医療事業	8,124	8,068	56
特別会計合計	288,639	287,289	1,350

平成21年度 一般会計歳出決算費目別内訳



平成21年度 一般会計決算収支の状況

単位: 百万円

項目	金額
予算現額	469,279
歳入決算額	A 429,886
歳出決算額	B 427,745
歳入歳出差引額	C=A-B 2,141
翌年度へ繰り越すべき財源	D 1,354
実質収支額	E=C-D 787



敬老乗車証



民生委員児童委員研修会